

ジェンダー平等の前進を

杉山直子議員

選択的夫婦別姓を早く!

選択的夫婦別姓制度は、経団連の提言も含め世論が高まり、総選挙の争点になりました。さらに、国連女性差別撤廃委員会より“夫婦同姓を強いる民法の規定は差別的”と、改定を勧告されました。

共同通信の自治体首長へのアンケートで吉住区長は「どちらかという賛成」と回答しており、ならば国に対して実現を求めているかどうかとの質問に対して区長は、「国において検討すべきことであり、その考えはない」と非常に冷たい回答でした。

「性の商品化」防止を軽視する新宿区

新宿区は「第四次男女共同参画推進計画」を改定しましたが、「性の商品化」（特に女性の性のモノ扱い）防止の取組みについて、わずか一件のパブリックコメントを受け、この概念の定義を売春などの違法行為に限定し、「ポルノなどの性的情報等」を削ってしまい、言葉そのものを9カ所も削除しました。歌舞伎町における若い女性への性搾取への対応にもその姿勢が現れています。



災害時の高齢者・障害者を 守る個別支援計画を

高齢者・障害者など災害時の要配慮者に対する支援体制をつくるため、国は自治体に「個別支援計画（個別避難計画）」を求めており、23区では22区が着手しています。新宿区にその計画はなく、「要配慮者災害用セルフプラン」が実施されています。セルフプランは住所、氏名、利用している介護事業所などを書き込んだ「自助」にすぎず、障害者団体からは「役に立つのかわからない」と声が上がっていました。人工呼吸器使用者には個別支援計画があるのですから、必要な要配慮者には全員に実施するよう求めましたが、区は「より効果的な支援体制を準備する」（具体性無し）と言って拒みました。



スキマバイトで 職員募集 学童クラブ

近藤なつ子議員

昨年度、職員水増し不正のあった児童館・学童クラブでは、その後も条例違反状態が発生するなど問題が続いています。

新たに選ばれた事業者の中には、応募時のプレゼンで約束した人員よりも少ない配置で運営し、不正のあったワーカーズコープの時よりも少なく条例違反状態もあった事を日本共産党が指摘しました。

一方、人手不足解消のため、スキマバイトアプリを使い区立児童館等で3事業者が15箇所職員を募集していました。子どもへの虐待のニュースが絶えない昨今、保護者は不安です。学童職員などの募集にはスキマバイトを利用しないよう求めましたが、区長は「やむをえない」などと驚くべき回答でした。



給付型奨学金と 奨学金返済支援を!



品川区は返済義務のない給付型奨学金制度を来年度からの実施を表明しました。日本共産党区議団の区政アンケートで、貸与型の奨学金を借りている30代の方からは「毎月の返済が生活を圧迫」、20代の方からは「給料が安く支払いが終わらない」「結婚や子どものことは考えられない」などの声が寄せられました。

区長は、「将来に対する不安を感じる若者がいることは認識している」と言うものの、「学費値上げは中止を」「奨学金の返済額を半額に」「給付型奨学金を」と国に求めることや、『新宿区子ども・子育て支援事業計画』に給付型奨学金を盛り込むことについては後ろ向きな答弁でした。

保険証を残せ!

政府は健康保険証の廃止と「マイナ保険証」への一本化を進めていますが、保険証の存続は国民多数の世論です。区長に対し、政府に保険証廃止の中止を申し入れるよう求めましたが、応じませんでした。

また、現行の保険証が12月2日以降も使用できることや、マイナ保険証利用登録解除ができることを周知し、次の保険証更新時は全員に資格確認書を一齐送付するよう求めました。周知は区HP等で行うと答えましたが、一齐送付は検討中との事でした。

高すぎる国保料

国保料は22年連続で値上がりし、23区で最も高くなっています。区長に対し独自の軽減策を求めましたが、これにも応じませんでした。



各議員と区議団は、定例の法律・くらしの相談会を行っています。お気軽にお問合せください。

区議団控室 ☎03-5273-3551

川村のりあき

西落合1-32-18
☎ 070-6510-8893

近藤 なつ子 戸山1-16-16-310
☎ 090-4849-3227

沢田 あゆみ 西早稲田2-19-1共美ビル101
☎ 090-3088-9591

佐藤 佳一 新宿区北新宿1-6-16-602
☎ 090-2641-8431

藤原 たけき 山吹町311 榎本荘1階
☎ 070-5371-5853

高月 まな 大久保1-3-3-402
☎ 080-5876-2337

杉山 直子 下落合2-6-13-401
☎ 080-5467-8774